

菅原春男さん

丈夫な体で、自然とともに生きる



春男さんは、25歳で妻トシさんと結婚し、子5人、孫14人、ひ孫19人がいます。長年、林業と農業をはじめ、リンゴ栽培にも従事しました。長生きの秘訣は、好き嫌いなく何でも食べることにあります。

誕生会には親族らがおいとこ節を披露。百歳の節目を迎え、声を詰まらせながら感謝の気持ちを伝えていました。



すがわら・はるお
川崎町薄衣
大正3年2月6日生まれ

阿部あな子さん

大好きな歌とともに、楽しく生きる



あな子さんは、20歳で庄五郎さんと結婚し、子5人、孫12人、ひ孫14人がいます。戦後や水害時の復興の中で、農業や商売に懸命に励んだそうです。現在は、自宅で長男夫婦と3人暮らし。元気に童謡を歌ったり、しみながら日々を送っています。百歳の誕生日には親族ら30人が駆けつけ、「春よ来い」をあな子さんと一緒に歌い、節目の日を祝いました。



あべ・かなこ
一関市字二本木
大正3年3月8日生まれ

岩淵テイさん

仲間とともにゲートボールをこよなく愛する



テイさんは、昭和9年に結婚し、子5人、孫13人、ひ孫9人がいます。長年、製糸工場に勤め、戦後は食べるものもミルクもなく、子育てには苦労したそうです。趣味はゲートボール。週に2回は練習に通い、編み物や折り紙など指先を使う作業も得意。「長生きの秘訣は、何でもよく食べ、くよくよ考えずに悩まないこと。足腰が丈夫な限りゲートボールを続けたい」と話していました。



いわぶち・てい
大東町曾慶
大正3年2月11日生まれ

石川イシヲさん

しっかりもので、野菜づくりに汗を流す



石川イシヲさんは、17歳で文雄さんと結婚し、子7人、孫15人、ひ孫19人、玄孫7人がいます。70歳を過ぎるまで、野菜づくりに取り組みました。しっかりもので器量も良く、時には厳しい面もあったそうです。90歳までゲートボールに励み、甘いものや野菜が大好物。長寿の秘けつは、自家製の薬草のお茶です。孫の真喜子さんは「長生きしてくれてうれしい。本当にありがとう」と声を詰まらせながら話していました。



いしかわ・いしお
一関市萩荘
大正3年3月25日生まれ

金野ナヲキさん

好きなことに夢中になることが大切



金野ナヲキさんは、16歳で親雄さんと結婚し、子5人、孫12人、ひ孫13人がいます。親雄さんが早くに亡くなり、子どもを育てるのに懸命に働いたといいます。今でも自分で雪かきや草取り、洗濯をします。買い物が好きでスーパーによく出かけ、好奇心が旺盛なことも長生きの秘訣と話します。プロ野球が大好きで、大の巨人ファン。ナヲキさんは「みんなのお陰」と笑顔で話してくれました。



こんの・なおき
千厩町千厩
大正3年2月25日生まれ

金野隆太郎さん

自慢の豆腐が長生きの秘けつ



金野隆太郎さんは、24歳で千代子さんと結婚し、子5人、孫11人、ひ孫1人がいます。60年前に家業の豆腐屋を継ぎ、豆腐作りは今でも引き継がれています。趣味は読書と詩吟。スポーツは卓球が得意。長生きの秘訣は、添加物が入らない豆腐をよく食べ、本を読んで頭を使うこと。「100歳にはなかなか行かないものではない。長生きは家族のおかげ」と元気に話してくれました。



こんの・りゅうたろう
川崎町薄衣
大正3年2月28日生まれ

小野寺常吉さん

のんびり自分らしく、あるがままに



常吉さんは、30歳で多満子さんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫6人がいます。戦後、満州から戻り、商売に懸命に励みました。温厚でマイペース、のんびりすることが好き。趣味は広告を眺めたりラジオを聴くこと。長生きの秘訣は規則正しい生活と好き嫌いをしない食生活と話します。常吉さんは「うれしい。涙が出る。ありがたい」と涙を浮かべて話していました。



おのでら・つねきち
花泉町花泉
大正3年3月31日生まれ

重ねた歳月、刻んだ年輪

百年目の寿



「いくつになっても笑顔でいられる」
そんな元気な年の取り方をする人が古里にはたくさんいます。
家族や地域の人たちと支え合って迎えた百寿のお祝い。
大正、昭和、平成。3つの時代を強く、たくましく生き抜いた7人を紹介します。